

教育

◆ICT機器整備！新しい電子黒板を設置！



西深校の授業の様子

11月から、市内全校全普通教室に新しい電子黒板を設置しています。平成21年度に設置した電子黒板が見づらくなり、今回は70型の大型の液晶ディスプレイで、明るさ・色彩など鮮明になりました。子どもたちは、高度情報化社会・グローバル社会を生き抜くための21世紀型スキルを身に付ける1つの手段としてICT機器を活用しています。

今、子どもたちは、疑問や課題を「調べ」、人とのコミュニケーションを通して自分の意見を「まとめ」、「発信」していくことにICT機器を抵抗なく活用しています。
多久市では、「自己肯定感」に満ち溢れる子どもたちを育てていきたいと考えています。
保護者や地域のみなさん、授業参観などでぜひ学校へ足をお運びいただき、子どもたちの授業風景をご参観ください。



中央校職員研修の様子

問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-2227

今月の論語

歳寒うして然る後に
松柏の凋むに後るるを知る

歳末の厳しい寒さにも
松や柏の葉は落ちない。
人も普段はわからないが、
大変な時に本当の強さがわかる。

今月の帰宅放送は、東原庁舎中央校9年 大坪 美咲さん(南多久町)です

教育

教育長コラム

ちよっとい話



「握手」

子どもたちの情緒の不安定さや親子の様子から、スキップ不足を感じた。具体的で心に届く方法を考えついた。ハグハグ大作戦だ。一日一回、子どもが家族に抱きしめてもらうことを校長からの宿題にした。時には握手大作戦もした。縦に家族の名前、横に一週間の枠があるプリントに、できたら丸をつけるだけ。反響は大変大きく効果をもたらした。エピソードも沢山できた。
うつむいて廊下の角を歩く気になる子に、嫌がられつつ握手をした。その子は指をピンと広げたままで握り返せない。母親は「赤ちゃんの時も抱けなかった」と。握手の経験なんて無かったのだ。
翌朝、握手をした所で私を捜すあの子を見つけた。

教育長 田原 優子

市民文芸

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

- ◆ 墨すれば 香りほのかに たちて来て
秋の雨夜をひとり手習う
川浪 信子
- ◆ 蔵出しの 玉露を静かに 飲み干して
心足らえり 小さき俵せ
浦野 嘉恵
- ◆ 秋風に 誘われ夫と 野を行けば
つわ路の黄の 群れて輝く
梶原恵美子
- ◆ 詠みためし 短歌日記よ 喜びや
悲しみ吐息 本棚の隅
本村 則子
- ◆ 遠住みの 子と過ごす 残り日合計は
一週間も ありやなしやと
尾形 節子

俳句 《互選》

- ◆ 紅葉山 亡母と 登りし 日も遠く
武富 律子
- ◆ 地震後の 肥後の 湧水 秋澄めり
倉成 皓二
- ◆ 弟に持たせる 郷の新走
富樫 明美
- ◆ 初鴨や 庁舎の 池に 十羽ほど
おおやはな
- ◆ 色変へぬ 松復元の 城の垣
大石ひろ女

川柳 《多久市川柳会 互選》

- ◆ 紅葉に見とれつまずく 老いの足
古賀ちひろ
- ◆ お隣りの 紅葉は うちの 庭が好き
松下 修
- ◆ 追伸に 大きく 書いた ほめ言葉
大谷 和
- ◆ 再検査 終えて 安堵の 声弾む
高塚ちかこ
- ◆ されいごと ばかり 並べて いる 対話
田代まつこ